



# 明石地域安全ニュース

令和3年6月号

2021年

明石警察署

魚住二見地区

## 安心安全の街「あかし」を目指して ★

### 明石市内の犯罪情勢

- ◆ 刑法犯認知総件数は、662 件で昨年より 84 件減少しました。  
その内の窃盗犯についても 360 件で 88 件減少しました。

### 魚住二見地域の情勢

- ◆ 犯罪発生は地域的に減少しています。  
(魚住交番管内 自転車盗 -11件 器物損壊 -11件が減少。)  
西二見交番管内では、器物損壊の被害が増加しています。

### 犯罪発生状況 (5月末) ( )内の数字は、令和2年5月末との対比です。

(暫定値)

区分	ひったくり	車上ねらい	部品ねらい	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	空き巣	忍込み	器物損壊
市内	0 (-6)	13 (-4)	14 (+1)	1 (-6)	12 (-21)	103 (-4)	10 (-3)	0 (-10)	106 (+11)
魚住	0 (-1)	1 (-2)	2 (-4)	0 (-2)	1 (-5)	9 (-11)			20 (-11)
東二見	-	3 (+1)	0 (-2)	0 (-1)	2 (+2)	9 (+2)			7 (-2)
西二見	0 (-1)	1 (±0)	1 (+1)	0 (-2)	0 (-1)	3 (+1)			9 (+6)

### \*薬物乱用防止\*

～薬物乱用のない社会を～

#### 薬物乱用の危険性

薬物の乱用とは、医薬品を医療目的以外に使用すること又は医療目的にない薬物を不正に使用することをいい、一度でも使用すれば「乱用」となります。

覚醒剤や大麻などの薬物を乱用すると、快感が得られたりストレスが解消されたりしますが、その体験が「依存性」を形成し、より強く薬物を求めるようになります。

薬物の乱用により、精神と身体の両面が致命的に破壊され、最悪の場合、死に至ることもあります。

また、薬物の使用を止めた後でも、長い期間にわたって後遺症に悩まされるという危険性もあります。

さらに、薬物作用により幻覚、幻聴など障害に陥り、凶悪な犯罪や重大な交通事故を引き起こしたり、薬物の購入資金を得るために犯罪を行ったりするなど、社会全体に弊害を及ぼしています。

\* 悩まず相談を!! \*

覚醒剤や大麻などの薬物に関する悩みや、薬物の密売・乱用に関する情報は迷わず 覚醒剤110番 (078) 361-0110 に相談してください。

